

株式会社ソフトフロント

2014年3月期 通期決算説明資料

2014年5月14日

この資料に記載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績、出来事・状況に関する説明における「期待」、「計画」、「見込み」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものには限定されません。口頭または書面による見通し情報は、広く一般に開示されるほかの媒体にも含まれる可能性があります。これらの情報は、現在入手可能な情報から得られた当社の判断にもとづいています。実際の業績は、様々なリスクや不確実な見通しのみで全面的に依拠することはお控えいただけますようお願いいたします。

2014年3月期 通期業績の概要

執行役員 管理部部長 高野誠一

業績の概要

(単位：百万円)

	2013年3月期 通期	2014年3月期 通期	前年同期比 (%)	増減
売上高	549	597	108.8%	48
営業損益	△107	△207	—	△100
経常損益	△108	△213	—	△105
当期純損益	△110	△247	—	△137

通信事業分野が好調であったことなどにより売上高が前年同期より増加。損益が前年同期より悪化するも、第2四半期と第4四半期の会計期間で黒字化を達成し、Web上でのリアルタイムソリューションの提供やスタートアップ企業支援事業等進展。

「売上高」の状況

(単位：百万円)

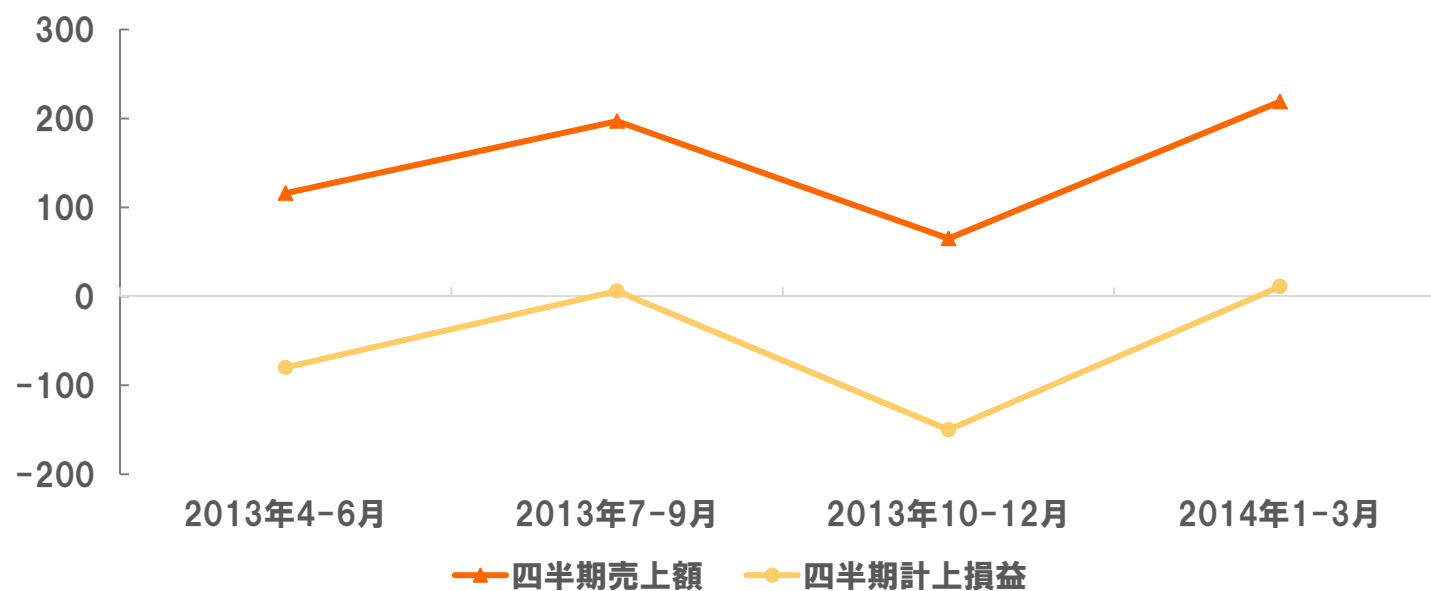
	2013年3月期 通期	2014年3月期 通期	前年同期比 (増減額)
売上高	549	597	48
ソフトウェア販売	192	252	59
受託開発	331	328	△2
その他	24	16	△8

ソフトウェア販売は、既存事業領域として注力した通信事業者向けの製品販売が増加したこと、継続的なライセンス収入が堅調であったことにより前年同期より増加。受託開発は、既存事業領域を中心に前年同期並みを維持。

四半期別業績推移

(単位：百万円)

	2013年4-6月	2013年7-9月	2013年10-12月	2014年1-3月
四半期売上額	116	197	65	219
四半期経常損益	△80	6	△150	11



2014年3月期：キャッシュ・フローの概要

(単位：百万円)

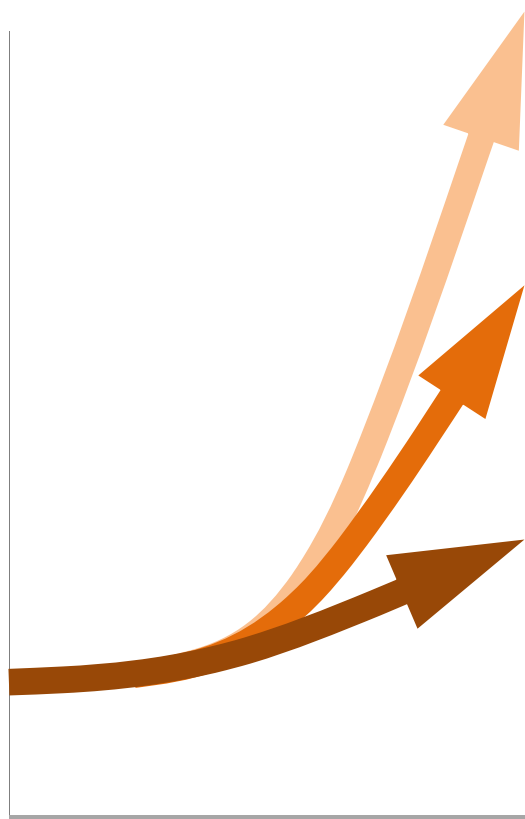
営業活動によるキャッシュ・フロー	△4
税引前当期純利益	△245
減価償却費	146
売上債権の増減額 (△増加)	60
仕入債務の増減額 (△減少)	8
その他	37
投資活動によるキャッシュ・フロー	△144
財務活動によるキャッシュ・フロー	435
現金及び現金同等物の増減額	△285
現金及び現金同等物の期末残高	499
フリー・キャッシュ・フロー	△149

事業展開について

代表取締役社長 阪口克彦

中期経営計画の進捗状況及び今後の取り組み

ソフトフロントの成長イメージ



③ デジタルポストを始めとするサービス事業に取り組み、新たな成長を図る

② 新規市場としてアジア市場を狙う海外事業を興し成長を図る

① SIPを中心とした従来の既存事業をベースとして緩やかな成長を図る

進捗と今後の取り組み

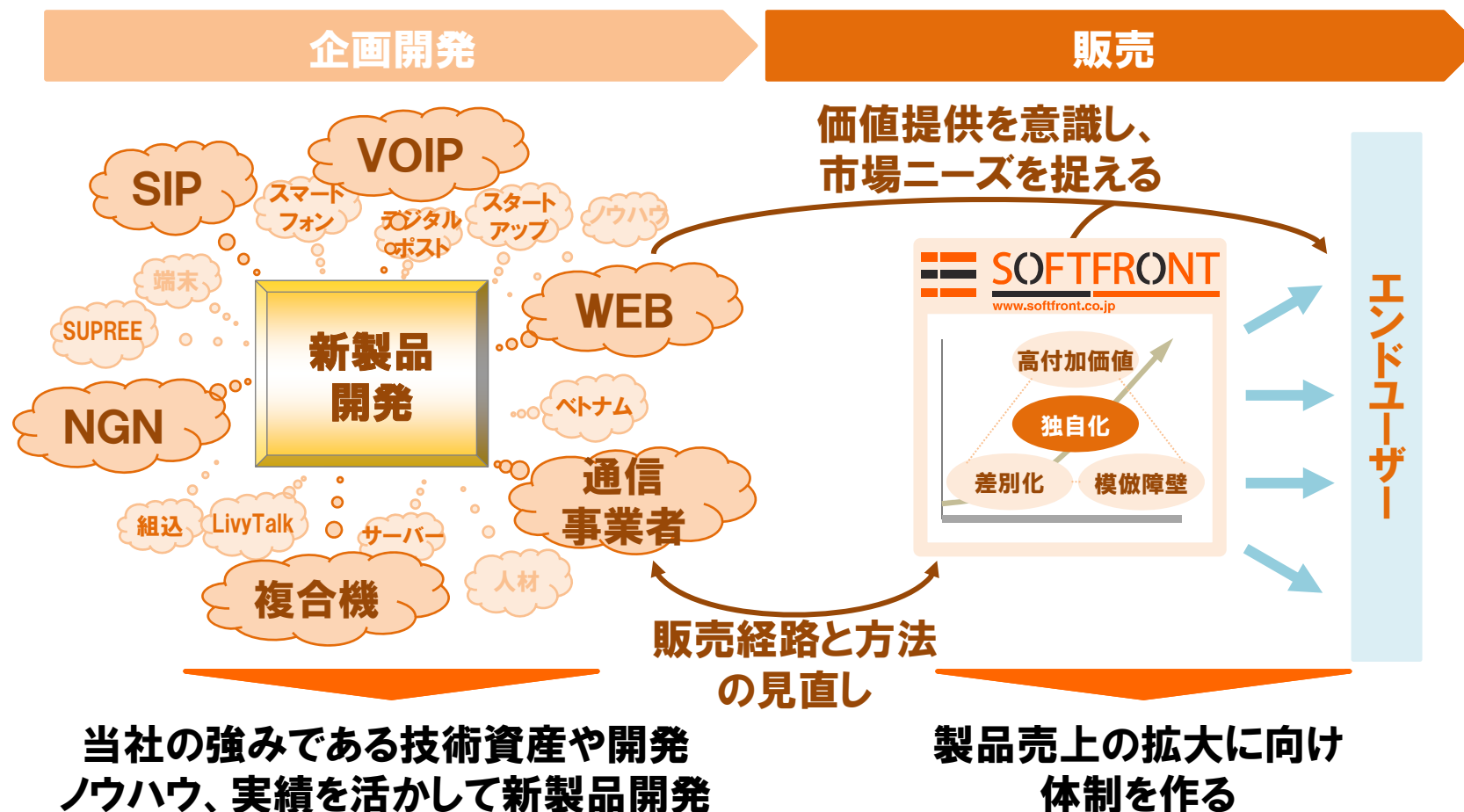
- デジタルポスト関連事業の強化、拡大
- 新たなサービス提供に向けたパートナー企業への協業開始

- ベトナム子会社設立
- ベトナム国内企業と協業に向け活動

- NTTグループと電力系通信事業に注力した結果、売上が前年度より増加
- 事業拡大に向けた新たな製品開発販売を開始

今年度経営計画

エンドユーザーへの価値提供を意識した製品開発と、市場のニーズを的確に捉え、従来の販売経路、方法についても見直し、製品売上を拡大させるための体制作りを行います



今年度経営計画

当社とサムライインキュベート社は、両社のノウハウや技術を合わせスタートアップ企業の事業成長をサポートする「スタートアップ企業のアイデアをカタチに」に向けた協業を行うことを合意しました

- 当社は、自社の保有する技術資産の他、Webサービス・スマートフォン等のアプリケーション開発や運用に関するノウハウを通じ、優れたスタートアップ企業および起業家のアイデアに対して、その事業成長に向けたサポートを提供してまいります
- これにより、新しく生み出されるイノベーション市場に対して、自社の技術資産やノウハウが活かされる環境を築いてまいります

今年度経営計画

東京本社と札幌本社に分散していた国内の開発機能を東京本社一拠点に集約することにより、開発効率及び生産性の向上を図ります

- リソースを集中することで、プロジェクト管理を徹底
- 研究開発資産の管理とメンテナンス、新規開発実施
- 人材育成と適切な配置による生産性向上



開発効率及び生産性の向上を狙う

資金調達について

< 第三者割当による新株式及び第8回新株予約権の発行 >

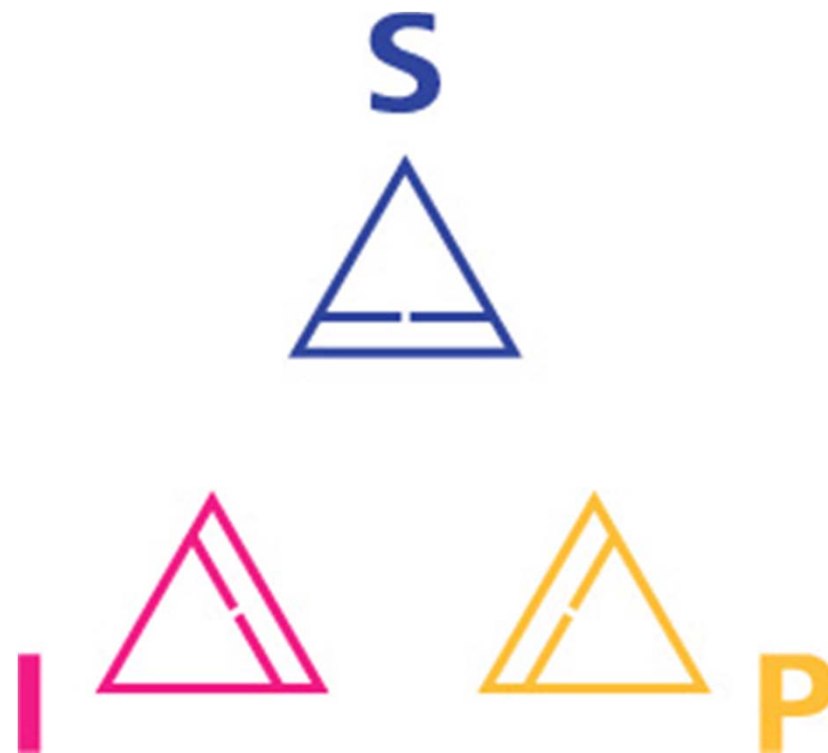
- 平成26年3月24日付で、Oakキャピタル株式会社に対し
第三者割当による新株式を発行及び第8回新株予約権
を発行

※2014/03/03及び2014/03/24にリリース発表済

【用途】

- ・ サービス事業領域における事業開発・研究開発資金

SIP connects the future



**ソフトフロントは SIP 技術を基に
社会変革の牽引役となり、豊かな社会を実現します**